

□■養成所ニュースプラス第 15 号 2023□■

先週の福岡会場で、今年のスクーリングが無事終了しました。アンケートにもご協力いただきありがとうございました。多くの皆さんから、「グループワークで、多様な考え方や実践にふれることができた」という声や、「同じように孤独な通信課程の学習に取り組む仲間がいることに気づきモチベーションになった」という声をいただきました。

今回は、皆さんがスクーリングで体験した面接技法について「相談援助の理論と方法」（現、ソーシャルワークの理論と方法）の問題で確認していきます。今回も選ばなかった選択肢のどこを直せば適切になるか合わせて考えてみましょう。

■Plus Quiz・・・・・・・・

【第 34 回問題 108】相談援助の面接を展開するための技法に関する次の記述のうち、最も適切なものを 1 つ選びなさい。

1. 言い換えとは、クライアントの語りに意識を集中させ、感情を感じながら積極的に耳を傾けることである。
2. 感情の反射とは、クライアントが答える内容を限定せずに自由に述べられるように問い掛けることである。
3. 傾聴とは、クライアントの感情に焦点を当て、クライアントが語った感情をそのまま返していくことである。
4. 焦点化とは、複雑に絡み合う多くの現実の要素をクライアントと一緒に点検して整理することである。
5. 開かれた質問とは、クライアントの話した事実や感情を簡潔に別の言葉に置き換えて伝え返すことである。

正答と解説は最後に記載してあります。

■Yoseijo Info・・・・・・・・

・(34 期生) 本日、該当者に対して修了見込証明書類一式並びに「受験対策講座」のご案内をレターパックライトにて発送いたしました。←New

修了見込証明書は国家試験の受験申込に必要な重要書類となりますので、1 週間程経っても届かない場合は当養成所までご連絡ください。

- ・(34 期生) 住所変更後、変更届を提出していない場合はご提出ください。
- ・(35 期生) 教育訓練給付制度（専門実践教育訓練）の支給希望の方へ
「受給資格者証と公的身分証明書のコピー」の提出をされていない方は、早急に提出してください。
- ・(35 期生) 見込書類（実務経験証明書）のさしかえについて
入学願書提出時に「実務経験見込証明書」を提出している方は、入学資格または実習免除を満たした期間の「実務経験証明書」の提出が必要となりますので、早急に提出してください。
- ・受講の手引の表紙裏（表紙の次のページ）に“レポート作成・提出チェックリスト”があります。
レポートの作成・提出の前に必ず確認してください。

■Test Info・・・・・・・・

国家試験に関する情報をお届けします

- ・第 36 回国家試験は、令和 6 年 2 月 4 日（日）です。
詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1122439&c=3246&d=99c7>
- ・第 36 回社会福祉士国家試験『受験の手引』請求窓口が開設されました。
詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1122440&c=3246&d=99c7>

※上記 URL にアクセスし「3 申し込み手続き方法」を確認してください。

・社会福祉振興・試験センターより、「令和 6 年度（第 37 回試験）から適用する社会福祉士国家試験出題基準（予定版）」が公表されました。

詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1122441&c=3246&d=99c7>

・社会福祉振興・試験センターより、「令和 5 年度社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士における感染症対策につい

て」が公表されました。

詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1122442&c=3246&d=99c7>

・日本ソーシャルワーク教育学校連盟主催の全国統一模擬試験のご案内です。

詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1122443&c=3246&d=99c7>

※締め切り間近ですので、検討されている方は早急にご確認ください。

■Plus Info

その他の情報をお届けします

・日本知的障害者福祉協会では様々な情報を発信しております。

詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1122444&c=3246&d=99c7>

■Back Number

過去のバックナンバーはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1122445&c=3246&d=99c7>

■Plus Column

【受験対策ミニ講座第7号／受験勉強は進んでいますか】

受験対策ミニ講座の第1号でスケジュールの作成、第2号で解説のある過去問題集を取り上げ、第3号ではその勉強方法をお伝えしました。皆さん、受験勉強に切り替えましたか。この1ヶ月の進み具合はいかがでしょう。

この講座でも紹介した、中央法規が提案するスケジュールですと、共通科目の3年分の過去問が終わり、専門科目に入った辺りでしょうか。1週間で3回繰り返して記憶していく方法は、効果を実感できていますか。1日おきの勉強時間の確保はルーティンになってきたことと思います。休養日を活用しながら、着実に前に進んでいきましょう。

ネットを検索すると、「3ヶ月あれば合格する」「10月からでも間に合う」「1ヶ月前からでも余裕」などと出てきます。1ヶ月前に見直す位で大丈夫なくらい知識を積み上げている方は余裕でしょう。「誰でも合格する」と真に受けてはいけません。合格した先輩たちからも、「もう少し早く始めていればよかった」という感想が毎年届きます。

まだ、始めていない方は、すぐに切り替えていく必要があります。何かきっかけを掴みましょう。今日は9月1日で、しかも金曜日です。始めるには最高の「きり」の良さです。先日、お電話で話した方は、受験申込みをするまで落ち着かないとのことでした。来週中には、受験申込に必要な修了見込証明書をお届けする予定です。いよいよスタートです。

来週の受験対策ミニ講座は1回お休みにし、Plus Columnは、35期生にむけた「2学期レポート作成のポイントについて」取り上げます。

【Plus Quiz 正答と解説】

スクーリングは、皆さんが学んでいる知識や技術、価値・倫理を「演習」をとおして身に付けていく時間です。担当の先生が提供する具体的な事例を題材に、個人ワークやグループワーク、ロールプレイング等の実技から能動的に学びます。

スクーリングで繰り返し取り上げる内容のひとつに、基本的な「コミュニケーション技術」や「面接技法」があります。テキストの文字ではよくわからなかったけれども、スクーリングで体感することができたという声も多くいただいています。まさしく、対面だからこそその学びがあったと思います。

国家試験出題基準の中項目「相談援助のための面接技術の意義、目的、方法、留意点」は、第32回以降、用語の知識を問う問題や事例問題が連続して複数出題されています。相談援助面接は目的をふまえて様々な面接技法を使って意図的なコミュニケーションを行います。第32回以降では、共感、ミラクル・クエスチョン、アイメッセージ、明確化、支持、感情の反射、傾聴、焦点化、繰り返しの内容が問われ、言い換え、要約、開かれた質問、閉じられた質問は複数回出題されています。スクーリングの場面を思い出しながら、確実に説明できるようにしておきましょう。アイビイのマイク

ロカウンセリングにある「基本的かかわり技法」やバイステックの7原則を整理しておくこともお勧めします。

1. ×選択肢は「傾聴」です。「言い換え」は選択肢5にあるように、クライアントの話した内容を主旨を変えず、ソーシャルワーカーの言葉に置き換えクライアントに返すことで、クライアントの気づきを促す技法です。
2. ×選択肢は「開かれた質問」です。「感情の反射」は選択肢3にあるように、クライアントにより表現された感情をソーシャルワーカーがそのまま返すことです。
3. ×選択肢は「感情の反射」です。「傾聴」は、選択肢1にあるように、クライアントに十分な関心に向けて、その語りに積極的に耳を傾けることです。
4. ○「焦点化」は、複雑化した情報をクライアントとともに整理することで、課題やニーズをお互い確認することができます。クライアントの視点もふまえた多角的視点でとらえることが重要です。
5. ×選択肢は「言い換え」です。「開かれた質問」は、選択肢2にあるように、クライアント自身の言葉を引き出し、答えに幅がでるような質問です。「閉ざされた質問」と違い、クライアントが様々な考えや気持ちを示すことができます。

※掲載内容の転載・再配布はご遠慮ください。

※メール内容に対する個別の対応は行っておりません。

※問い合わせ等については社会福祉士養成所ホームページより行えます。

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-19 K D X 浜松町ビル 6F

Copyright2016 YoseijoNewsplus